YAMAHA	GPハンドルガードセット 組付・取扱説明書	適応機種 オフロードタイプ車

はじめに

◘お 客 様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠注 意 取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

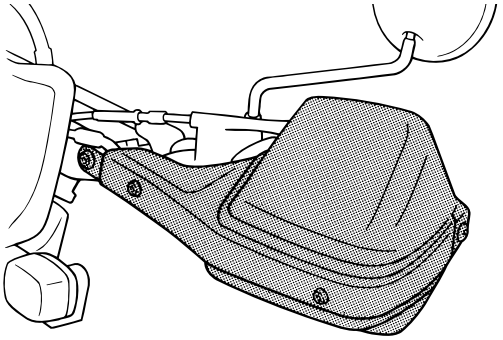
GPハンドルガードセット

■ポジションにこだわる

真のオフローダーならとことんタフでありたい。と同時にライディングポジションにはどこまでもこだわりたい。
ところが従来のハンドルガードは、ハンドルバーに対して取付角度が固定されていたため、ヘビーデューティーさと引き替えにライディングポジションの自由度は犠牲にされていた。
GPハンドルガードは、ホルダー部にアジャスティングワッシャー*を採用。（実用新案出願中）
オフセット量を変化させることにより、この種のハンドルガードで初めて角度調整が可能となった。（下図参照）

■選り好みしない

GPハンドルガードは、アルミハンドルにもスチールハンドルにもハンドルバーの材質を選ばず取り付けＯＫ。（一部特殊な形状のハンドルバーを除く）
取付角度調整式も相まって取付可能な車種の幅も広がった。



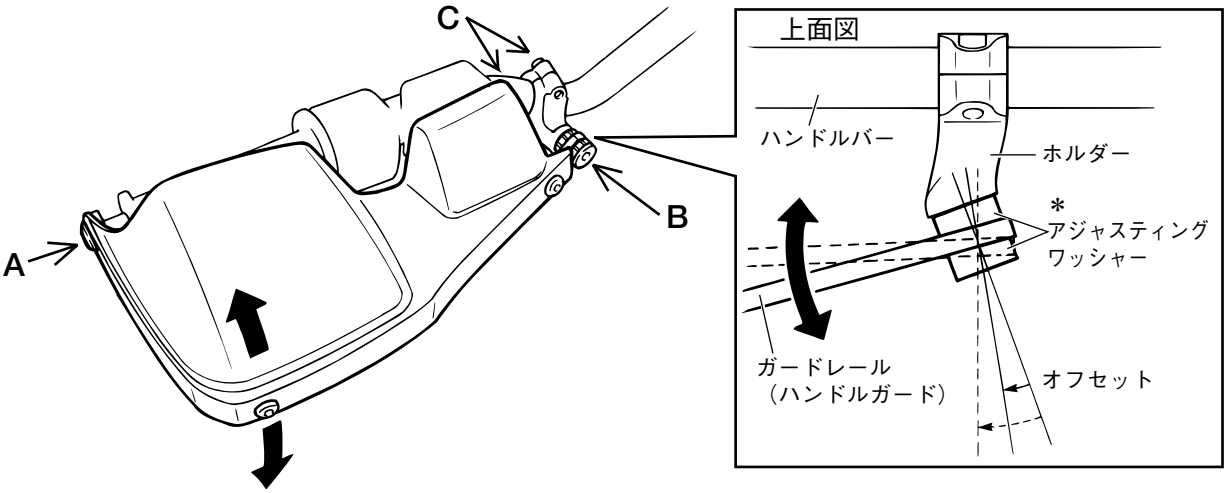
角度調整のしかた

1. 下図A, B, Cのボルトをゆるめます。
2. ハンドルガードを動かし、好みの角度を決めます。
3. ボルトAを締め付けます。
4. ガードレールとの間にすき間ができないようにアジャスティングワッシャを回し、調整します。
5. ボルトBを締め付けます。

⚠注 意

アジャスティングワッシャとガードレールとの間にすき間がないことを確認してください。

6. ボルトCを締め付けます。



組 付 方 法

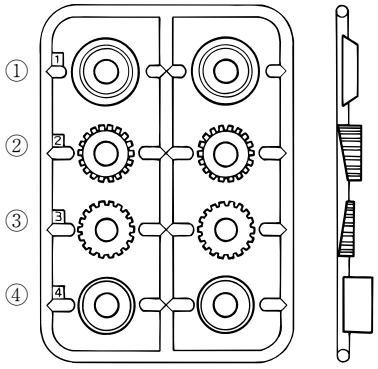
1. 組み付けを行う前にグリップラバー左右、ガイドチューブを取り外して図1のように加工して下さい。
2. ハンドルカバー⑤⑥、ガードレール⑦、グリップエンド⑪を図2のように仮組みします。
3. ホルダー⑧⑨を仮組みして、ハンドルガードを組み付けます。
4. 取付角度を調整してから各ボルトを締め付けます（取付角度の調整は表面を参照してください。）

※左右共に同要領にて組み付けてください。

⚠注 意

走行する前にスロットルグリップの戻りに異常がないことを確認して下さい。

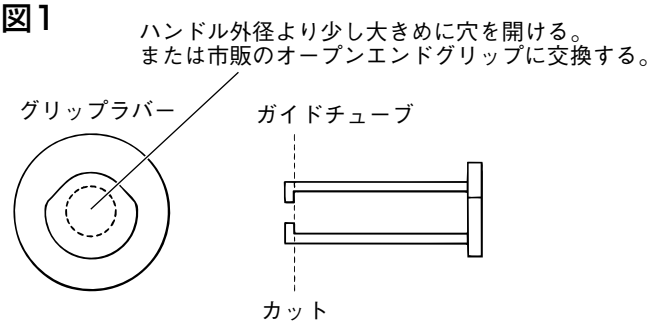
①～④のパーツをランナーから切り取る時はニッパーなどを使用してください。
バリはヤスリなどで削ってください。



構 成 部 品

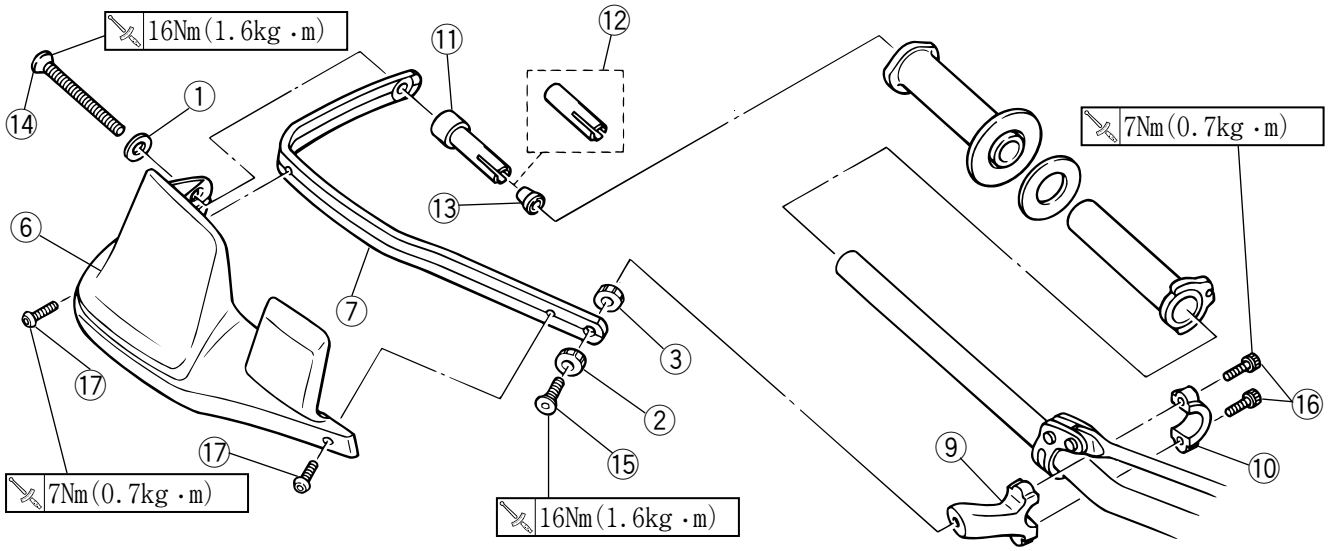
No.	品　　名	個数	備　　考
①	スペシャルワッシャ	2	
②	アジャスティングワッシャ前	2	厚い
③	アジャスティングワッシャ後	2	薄い
④	平ワッシャ	2	※2
⑤	カバーL	1	
⑥	カバーR	1	
⑦	ガードレール	2	
⑧	ホルダーL	1	
⑨	ホルダーR	1	
⑩	ホルダーキャップ	2	
⑪	グリップエンド	2	
⑫	スペーサー	2	※1 スチールハンドル用
⑬	テーパーナット	2	
⑭	皿ボルト	2	M8×80
⑮	皿ボルト	2	M8×30
⑯	ボタンヘッドボルト	4	92014-06025（M6×25）
⑰	テーパーヘッドボルト	4	90149-06264

図1



※1 スチールハンドルに装着する場合にはスペーサー⑫をグリップエンド⑪に被せて取り付けてください。

図2



※2　平ワッシャは、角度調整を必要としない場合に使用します。
上図　の代わりに取り付けてください。その際　は使用しません。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

〒432-8058　静岡県浜松市新橋町 1103
株式会社 ワイズギア
TEL 053-443-2180　FAX 053-443-2187